

令和2年度の主な事業

総務費 87億5,302万円(前年度25億6,431万円)

総合市民センター建設事業 17億1,781万円

令和4年秋ごろの開館に向け、建設を進めています。



(令和2年度末工事進捗率)

建設工事:28.2%、電気設備工事7.7%、機械設備工事4.9%

特別定額給付金給付事業 37億642万円

国の新型コロナウイルス感染症対策として、1人あたり10万円の特別定額給付金を給付しました。(36,902人)

キャッシュレス推進事業 2,650万円

非接触型のキャッシュレス決済サービスで支払った人にポイントを付与するなど、キャッシュレス決済の導入促進を図りました。

地域活動支援金事業 1,979万円

行政区などが感染拡大防止対策を実施し、また地域活動のさらなる充実を図るためため支援金を給付しました。

民生費 72億4,487万円(前年度71億9,469万円)

がんばる地域医療福祉従事者継続支援金支給事業 5,571万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、みやま市の地域医療・地域福祉を支えている市内事業所などに勤務する医療・福祉関係従事者を支援するため、支援金を支給しました。

瀬高放課後児童クラブ施設整備事業 4,736万円

小学校統合後の対象児童数に対応した施設にするため、整備を行いました。



瀬高放課後児童クラブ

衛生費 23億8,272万円(前年度21億1,324万円)

新ごみ処理施設建設事業 7億2,959万円

みやま市・柳川市で整備する新ごみ処理施設「有明ひまわりセンター」の、令和3年秋の試運転に向けた建設工事負担金を支出しました。

新型コロナウイルスワクチン接種事業 2,195万円

新型コロナウイルスワクチン接種予約システムを構築し、コールセンターを開設することで、接種予約の体制を整備しました。



有明ひまわりセンター



山川市民センターで行われた集団接種



学習用端末整備事業 1億2,793万円

児童生徒1人1台の学習者用情報端末を整備しました(写真)。

その他 79億7,211万円(前年度72億2,002万円)

スマート農業推進強化事業 4,404万円

作業員の削減や作業員間の密接回避のため、営農組織などに対し、農業機械導入に係る経費の一部を補助しました。

プレミアム商品券補助事業 5,321万円

市内商工業の活性化を図るため、市商工会が行うプレミアム付商品券事業に対し、補助金を交付しました。

災害復旧事業 5億8,990万円

令和2年7月豪雨により被災した公共施設などの災害復旧工事を行いました。



市ホームページ

令和2年度 決算報告

財政局 財政係 (Tel.64-1553)

決算の概要

令和2年度みやま市の決算は、国の新型コロナウイルス対策に加え、本市独自の支援策「がまだす・みやま全力応援事業」を推進し、希望と可能性を持てるまちを目指し、積極的に投資しました。

決算額は歳入総額270億9,924万円に対し、歳出総額263億5,272万円、差し引き7億4,652万円でした。これから令和3年度に繰り越した、事業に充てる財源1億4,839万円を差し引き、実質収支は5億9,813万円の黒字決算となりました。

■歳入増加理由 新型コロナウイルス対策に係る国庫支出金の増加、建設事業に係る市債の増加のため

■歳出増加理由 国の新型コロナウイルス対策(1人あたり10万円給付など)および建設事業に係る事業費の増加のため

